

REGULAR

13

CONCERT



Kurashiki Academic Winds

Message & Profile

本日はご多用中にもかかわらず、倉敷アカデミックウインズ第13回定期演奏会にお越し頂き、誠にありがとうございます。私たちは「地域の方々に生の演奏を聴いて頂き、吹奏楽の普及に貢献する」という方針で演奏活動を行っております。また、「音楽面での技術向上」にも日々の練習を通して励んでおります。演奏技術はまだまだ未熟ではありますが、本日も精一杯の演奏をお届けしたいと思っております。

今回は第2部に児島少年少女合唱団の皆様をお迎えして、アカデミックウインズ初の「吹奏楽と合唱のコラボレーション」をお届けします。また、第3部では名曲「展覧会の絵」に挑戦いたします。しかも耳慣れたラヴェル編曲版ではなく、高橋 徹 氏による編曲版でお送りします。演奏する団員達はラヴェルの呪縛に七転八倒・四苦八苦しながらも高橋氏の編曲の素晴らしさ（と難しさ…）を実感しつつ、本日の演奏会を迎えました。今回はチャレンジが盛りだくさんの演奏会、どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみください。

さて、去る2004年には台風が多数襲来し、倉敷市も沿岸部を中心に多くの方が被災されました。少しでも地元の方々のお力になればと思い、開演前にロビーでチャリティーミニコンサートを開催いたします。この趣旨にご賛同いただき、ご協力いただけます様、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、この演奏会の開催に当たり、団員のご家族、職場の皆様には格段のご配慮を頂き、ありがとうございました。併せて、演奏会スタッフとしてお手伝い頂いている方々にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

当団も年を追うごとに新しい仲間が増え、現在、70名近いバンドにまで成長することができました。これも地域の皆様、関係者各位のご支援のお陰と感謝しております。今後とも皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

倉敷アカデミックウインズ 団長
常國 真吾

本日は、第13回定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。

私たちは、一年間、今日この日のために練習してきました。当然、「打ち上げ」の予行演習も、念には念を入れてやってきました（やり過ぎの感もあるが…）。準備万端のはず？です。本日は、お越し頂いた皆様に「いかに楽しんで頂けるか」をよく考えながら、力尽き果てるまで演奏したいと思います（実際、第3部では力尽き果てると思います…）。

団員の皆さんは、練習に時間を費やすことで、ご家族や職場など周囲の方々にいろいろとご迷惑をおかけしていると思います。本日は、この「借り」を全て清算できるように、精一杯の「演奏」でお返しをしましょう。かえって「利子」が増えてしまった、というようなことがないようになつ！関係者の皆様は、よくお聴きおきください。

最後になりますが、私達のようなアマチュアの一般吹奏楽団が、このような素晴らしいホールをお借りして演奏会を開催するには、多くの皆さまのご協力が必要です。司会の光畠さんをはじめ、照明・印刷・会場のお世話、駐車場の誘導に至るまで、本当に多くの方々のお支えにより、この演奏会が成り立っています。頭の下がる思いです。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

定期演奏会実行委員長
朽木 陽一



山崎 良 続 / 指揮

倉敷青陵高等学校、島根大学教育学部 特別教科（音楽）教員養成課程 管弦打楽器（ホルン）専攻卒。ホルンを田中 昭、新田 厚の両氏に師事。編曲法を河添達也氏に師事し、在学中よりプラスアンサンブル・木管アンサンブル・吹奏楽・管弦楽等の編曲活動を行っている。

第8回定期演奏会より倉敷アカデミックウインズ常任指揮者を務める。



光畠 圭 子 / 司会

大阪府茨木市出身。岡山芳泉高等学校、就実女子大学英文学科卒。

「リビングおかやま」編集者からO H Kテレビレポーターに転身。以降、FM岡山DJ等を経て、現在、フリーアナウンサーとして幅広く活躍中。当団定期演奏会の司会は、2001年から今年で連続5回目となる。

Today's Program

1

Welcome to THE SHOW MUSIC

ブラヴォー・プラス！
Bravo Brass!

星出尚志

Takashi Hoshide

「アラジン」セレクション
Selections from ALADDIN

アラン・メンケン / ジョン・モス
Alan Menken / John Moss

アラビアン・ナイト Arabian Nights
 ひと足お先に One Jump Ahead
 結婚の報告 Wedding Announcement
 ホール・ニュー・ワールド A Whole New World
 ジャファーの出番 Jafer's Hour
 アリ王子 Prince Ali
 暗い夜に On A Dark Night
 フренд・ライク・ミー Friend Like Me
 ハッピー・エンディング Happy Ending

「ウエスト・サイド・ストーリー」セレクション
WEST SIDE STORY - Selection for Wind Orchestra

レナード・バーンスタイン / 山崎良続
Leonard Bernstein / Yoshitsugu Yamasaki

アイ・フィール・プリティー I Feel Pretty
 マリア Maria
 サムシングズ・カミング Something's Coming
 トゥナイト Tonight
 ワン・ハンド, ワン・ハート One Hand,One Heart
 クール Cool
 アメリカ America

我が心のフォスター
Foster on My Mind

スティーブン・コリンズ・フォスター / 星出尚志 - 山崎良続
Stephen Colins Foster / Takashi Hoshide - Yoshitsugu Yamasaki

草競馬 De Camptown Races
 夢路より Beautiful Dreamer
 故郷の人々 Old Folks at Home
 オールド・ブラック・ジョー Old Black Joe
 おお！スザンナ Oh!Susanna
 ケンタッキーの我が家 My Old Kentucky Home,Good Night
 金髪のジェニー Jeanie with the Light Brown Hair

ひとりぼっちの羊飼い
The Lonely Goatherd

オスカー・ハーマンスタイン二世 & リチャード・ロジャース
Oscar Hammerstein II & Richard Rodgers

Stage with GUEST SINGERS

2

ゲスト：児島少年少女合唱団

3

Enjoy Classical Master Piece !

組曲「展覧会の絵」 Pictures at an Exhibition

モデスト・ペトロヴィッチ・ムソルグスキー / 高橋 徹
Modest Petrovitch Mussorgsky / Tohru Takahashi

プロムナード
Promenade

1. こびと
The Gnome

プロムナード
Promenade

2. 古城
The Old Castle

プロムナード
Promenade

3. チュイリリーの庭
Tuileries (Children's Quarrelling at Play)

4. ブィドロ
Bydlo

プロムナード
Promenade

5. 卵の殻をつけたひな鳥の踊り
Ballet of the Unhatched Chicks

6. サミュエル・ゴールドベルグとシュミユイル
Samuel Goldenberg and Schmuyle

プロムナード
Promenade

7. リモージュの市場
Limoges, The Market Square (The Big News)

8. カタコンブ (ローマの墓地)
Catacombs (A Roman Sepulchre)

9. 死者の死せる言葉で
With the Dead in a Dead Language

10. 鶏の足の上に建つ小屋 (ババ・ヤーガ)
The Hut on Hen's Legs (Baba-Yaga)

11. キエフの大きな門
The Bogatyr Gate (at Kiev, the Ancient Capital)

Let's enjoy music with us !

私たち倉敷アカデミックウインズでは新しい仲間を募集中です！吹奏楽の経験をお持ちの方で、もう一度演奏活動をしてみたい！と思っているそこのあなた！ぜひ一度練習において下さい。私たちと一緒に音楽を楽しみませんか？

Official WEB <http://www.kaw.ne.jp/>

E-Mail kaw@kaw.ne.jp

Phone 090-4897-8648 (事務局 佐藤方)

Program Note

組曲「展覧会の絵」に取り組むにあたって



ロシアの作曲家モーデスト・ペトロヴィッヂ・ムソルグスキー（1839～1881）が1874年に書いたピアノ組曲「展覧会の絵」には、おびただしい数の編曲が存在します。

それはおそらく、原曲が持つ強烈なロシア音楽の色合いや、ピアノ曲の枠組を超えてるであろう破格のスケール、それから和声的に未完成とも感じられることなど…様々な要素が編曲者たちを触発するからでしょう。

その数は、もっとも有名なラヴェル版をはじめとするオーケストラ版だけでも二桁に達しますし、他にもホロヴィッツの「ピアノ」版（原曲をさらに派手にしたもの）や「ギター」版、そして「吹奏楽」版…と挙げていけばきりがありません。

吹奏楽という編成で「展覧会の絵」を演奏する場合、ラヴェルのオーケストラ版をさらに吹奏楽に編曲した物を取り上げるパターンが一般的です。が、今回私達は、大阪音楽大学で教鞭をとっておられる高橋 徹氏がピアノ譜から吹奏楽譜に編曲を施した（つまり、あのあまりにも有名すぎる『ラヴェル版』の呪縛に打ち勝って生み出された）ものに取り組みました。

僕はオーケストラ作品を吹奏楽に編曲して演奏することを否定はしません。むしろ、編曲をすることによって名曲が身近なものになると想っています。それは、【オーケストラ作品】を演奏することが大切なではなく、【作品そのもの】にふれることに、より大きな意義を感じるからです。実は僕自身、『ラヴェル版』を吹奏楽に編曲した経験もあるのですが、あえて今回この『高橋版』に取り組んだ理由をいくつか挙げてみたいと思います。

※ 全曲が編曲されていること（『ラヴェル版』では「リモージュの市場」の前の「プロムナード」が省略されている）。

※ 『ラヴェル版』からの編曲（既存の楽譜や僕の楽譜）ではなく、編曲者の創造性が大きくオーケストレーションに働いていること（楽器法が創造性・意外性に富んでいる）。

※ 『ラヴェル版』がカラフルで明るいフランス的な響きであるのに対し、『高橋版』はロシア的な重々しさを感じ取ることが出来たこと。

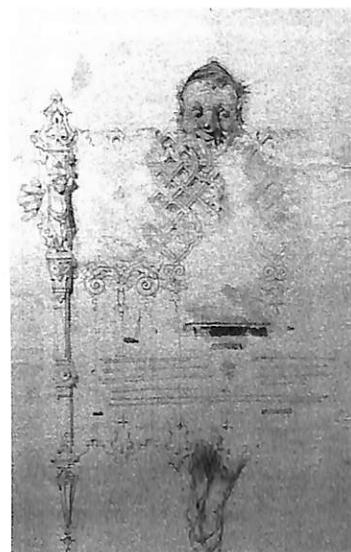
など…。

「展覧会の絵」についての説明は、既存の書籍やCDのライナーノート等に詳しく説明されていますので、そちらをご覧頂けたら思います。ここからは、簡単な説明に高橋版「展覧会の絵」に取り組むにあたって、指揮者が楽譜を眺めていて思ったことや、アプローチの方法を交えながら書いていこうと思います。

【プロムナード】

ムソルグスキーが、亡くなった画家の親友ハルトマンの展覧会を歩く様子を表している、と言われています。5拍子と6拍子が繰り返されるロシア民謡風の旋律が奏でられます。『ラヴェル版』ではトランペットによる華やかなオープニングですが、『高橋版』はどうでしょうか？死んだ友を思い出しながらムソルグスキー（彼もまた晩年）は歩き始めるのです。

1. 【こびと】



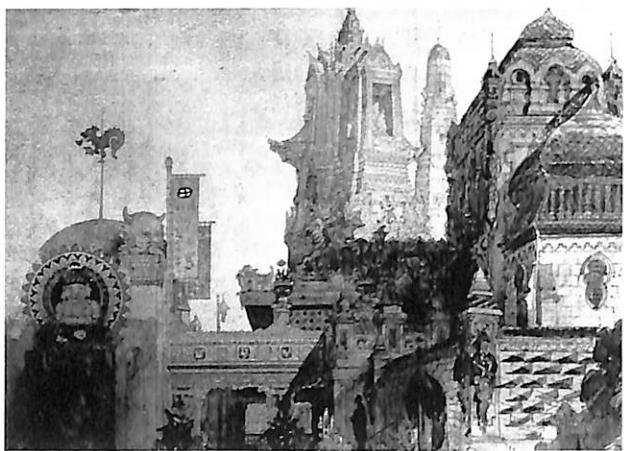
グノム（土の精）は足が曲がっていて、その足をひきずるようにしながら、それでもきわめて早くちょこまかと動き回る妖怪のような妖怪。ハルトマンの絵では子供のような愛嬌のある絵になっています。妖怪のようなおどろおどろしさを強調するような演奏ではなく、むしろ軽やかで滑稽に演奏できればと思います。

【プロムナード】

穏やかでやさしく歌われるプロムナード。友との楽しい会話などを思い出し、少し気持ちが晴れやかになる気分を表現出来ればと思います。

2. 【古城】

中世の古城の下で吟遊詩人が歌う様子を表した絵です（次ページ）。比較的遅いテンポ設定の演奏を良く耳にしますが、むしろやや速めのテンポ設定の方が良いかも知れないと考えました。なぜなら、吟遊詩人が歌うのは、人が集まり、お金を投げ入れてくれるような場所であるはずだからです。人がいなければ商売あがったり？そこは静かではありますが、決して陰気な所ではないはずです。



【プロムナード】

初めてトランペットによって重々しく力強く開始されるプロムナード。【古城】を見たムソルグスキーの気持ちが和み、力を取り戻した感じで次の絵に向かうといったところでしょうか？

3. 【チュイルリーの庭】

パリのルーブル博物館（美術館）の横にあるチュイルリー公園の様子です。直筆譜に「遊び疲れた子どもたちの喧嘩」というメモ書きがあります。人々が盛んに行き交い、子ども達が走り回り、言い合いや笑い声が聞こえる活気のある所を表現したいと思います。



4. 【ブイドロ】

絵は見つかっていませんが、下にあるようなデッサン画を原画とする説もあります。曲名になっている Bydło はポーランド語で、第一に家畜（牛車）、第二に家畜のように虐げられた人々と言う意味を持つそうです。この曲は、圧制に苦しむポーランドの貧農の反乱を表現しているというのが通説となっています。であれば、直筆譜が ff で開始されているのも納得



が出来ます（牛車に注目したのではなく、それを引かせている農民の方にムソルグスキーの視点が向けられていた）。そう考えると pp で開始される、『ラヴェル版』は、大きな間違いを犯したと言えるのかかもしれません。実は、今回の『高橋版』でも pp で

開始されています。が、決してラヴェルと同じ過ちを犯したわけでも、安易に『ラヴェル版』をまねたわけでもないと僕は考えます。あえて pp で開始することを選択した編曲者はWEBサイトにこう記しています。

「…白黒写真には表現できてもカラー写真には表現できないものがあります。白黒写真是見る人のイメージを拡張しますが、カラー写真是見る人のイメージを限定してしまうからです。ピアノとオーケストラ（または吹奏楽）にも同じことが当てはまります。「心の痛み」のように内的なものをオーケストラや吹奏楽で表現することは難しいのです。…」

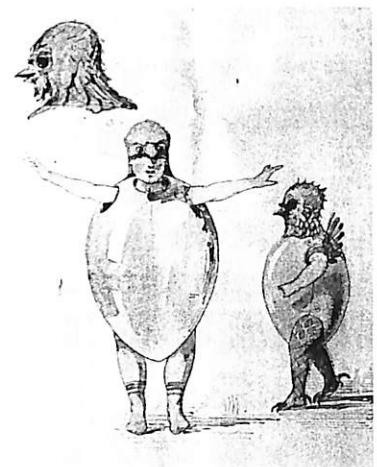
組曲「展覧会の絵」の中で、唯一原曲のピアノにはかなわない部分なのかもしれません。どの様に演奏するのかまだまだ思案中です。

【プロムナード】

短調で寂しく暗い表情を持つプロムナード。展覧会を進み友人ハルトマンを思い出すうち、急にまた寂しくなる、そんな表現が出来ればと思います。

5. 【卵の殻をつけたひな鳥の踊り】

バレエ「トレルビ」にために描かれた衣装デザインがモチーフとされています。ひな鳥の鳴き声とせわしない動きが、ユーモラスに描かれています。このデザイン画のような衣装を着ると、おそらく、かなり動作が制限されて、ぎこちない動きになるはずです。コミカルな表現を心がけたいと思います。



6. 【サミュエル・ゴールドベルグとシュミュイル】

サミュエル・ゴールドベルグは金持ちで傲慢なユダヤ人、シュミュイルは貧しくこざかしいユダヤ人。そんな二人が会話をしながら進んでいきます。（もしかしたら、この曲はハルトマンとムソルグスキーの会話を表現しているのかもしれません）



【プロムナード】

冒頭のプロムナードと同じテンポで開始されます。『ラヴェル版』では省略されています（おそらく前曲の【サミュエル…】と後曲【リモージュ…】とのコントラストをより引き立たせるためだと思われます）が、このプロムナードには重要な役割があると思います。終曲【キエフの大きな門】へ向かう、後半部分のスタートと捉えたいと思います。

7. 【リモージュの市場】



確かに絵は見つかっていますが、ハルトマンがフランスを訪れた時に、パリのリモージュの朝市の光景を描いたものではないかと推測されています。ム

ソルグスキーの直筆譜には「女達がケンカをしている。激しく激昂して、つかみかからんばかりに」と記されています。おしゃべり好きで体格の良い？そして威勢の良いロシアのおばさんを描いたのでしょうか？『高橋版』ではそんな様子が、ハイハット・シンバルのリズムによって表現されています。

8. 【カタコンブ】

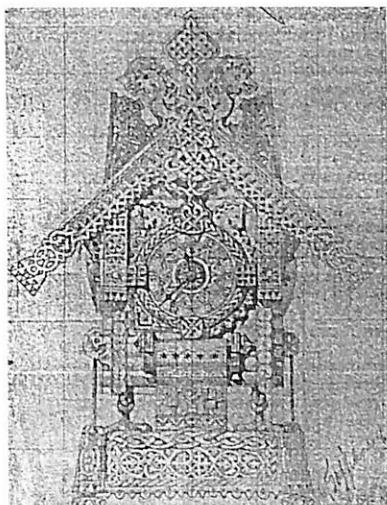
地下に建設された、古代ローマ時代に弾圧を受けたキリスト教徒たちの収容所兼墓地です。轟音のように鳴り響く金管楽器の重厚な強奏の和音の連続によって、死者たちの姿が浮かび上がります。



9. 【死者の死せる言葉で】

プロムナードの旋律が主旋律として登場します。聴きなれた旋律ですが、今まで登場した物とは明らかに役割が違います。これまで「絵」と一線を画してきた（曲間に演奏されていた）プロムナードが、【カタコンブ】に続き、消え入るように演奏され、絵と融合していく。あたかもムソルグ斯基の心情がハルトマンの残した絵と融合していくようです。友を失ったムソルグ斯基は、その死を受け入れ、レクイエム（鎮魂歌）を奏でます。

10. 【鶏の足の上に建つ小屋（ババ・ヤーガ）】



ババ・ヤーガとはロシアの民話で有名な魔女のことです。その小屋をイメージした奇妙な置時計のデザイン画がモチーフとなっています。精密な絵ですが、この絵から、ものすごい迫力を持つ魔女のイメージは湧きません。やはりこの音楽は、「人骨の柵に囲まれた鶏の足の上に建つ家に住み、石臼に乗って空を飛ぶ。人を食ってしまうこともあるが、時には悪者退治の助っ人にもなってくれたりする」というロシアに語り継がれる伝奇がベースとされているでしょう。

11. 【キエフの大きな門】

当時の首都キエフの入り口に建てる凱旋門の公募に応募した作品がモチーフとされています。聖歌のような旋律や鐘の音を模した動機がちりばめられていて、厳かで威風堂々とした旋律を引き立てます。プロムナードの旋律も登場し壮大なフィナーレを迎えます。『高橋版』では10小節も楽譜が延長されています。さてどの様なエンディングを迎えるのでしょうか？



演奏会本番までに考えが変わってしまって、この「プログラムノートと違う！」ということが起こり得るかもしれません、ご容赦下さい。あしからず。

（文：山崎良統）

児島少年少女合唱団



みなさんこんにちは！

私たちは児島少年少女合唱団です。

小学1年生から大学生までの、とても幅広い年齢層の集団ですが、いつも仲良く、楽しく、歌を歌っています！

今回、倉敷アカデミックワインズのみなさんとご一緒させていただることになり、みんなこの日を楽しみにしていました。

今日はみなさんと一緒に楽しみたいと思います。

団員

竹内 香帆	稻村 直哉	松田 時空
松田 時宙	岡田 千怜	今田 千尋
松田 春風	和田 貴子	石合留美奈
藤原 千里	松田 美星	岡田 純奈
片山明日香	橘 由利恵	畠山 奈々
宮崎 涼	和田明優夏	山本 真生
上之園美穂	宮崎 梨奈	宮崎 真実
喜田 寿江(OG)	喜田 由佳(OG)	山本 理世(OG)

団長

山口 智鶴

指導者

佐々木光子

中塚利英子

岡野 美絵

第20期生募集のお知らせ

- 応募資格／小学校1年生以上の男女で毎週土曜日午後2:00からの練習に参加できる人
- 練習場所／琴浦公民館3F
- 募集期間／1月30日～3月31日
- 入団式／2005年4月2日(土)
- 申し込み・問い合わせ／(086)473-0763(山口)

第19回定期演奏会のお知らせ

- 2005年2月27日(日)
- 児島文化センター
- 13:30 開場 14:00 開演
- 入場料 500円
- 曲目
合唱ミュージカル
「サウンド・オブ・ミュージック」他

Introduction of Members



Hi ! ホルンパートは、【野に咲く花のように可憐な女子高生ほとのちゃん】【昨年のX' masは彼女と一緒に…、ではなく盲腸のオペでナースと一緒にだった（泣）ヤマモトくん】【成人おめでとう、大人の女性にまた一步近づいたね！まゆちゃん】【30歳おめでとう（笑），指揮者と禁断の関係の我らアカデミックワインズ団長】【その団長に激似の（みなさん見間違えないで！）新婚ほやほやのぼるくん】【釣りをこよなく愛するがゆえに玉島に移り住んだ朝丘雪路】【そして、30過ぎて何故か門限が出来てしまったパートリーダー】という7人が、【昔はレディース、今は妊娠で産休中のアニキ】と心を1つにして、皆さんに素敵なサウンドをお届けします！



管楽器が野菜や肉などの食材だとすると、いわゆる調味料ですな。いつも練習ではシェフ（指揮者）にまざないと怒られ、食材（管）のみなさんに迷惑をかけながら頑張っております(^o^;) ウフフ
メンバーは、クールなリーダーを先頭にセクシー系からヤラレキャラ、その他モロモロ愉快に時に厳しく(?)しております。

今日は皆様によりおいしい料理（演奏）をお出しえるようスパイシーに頑張りマス！辛すぎたらごめんなさいm(__)mナンテね。

クラリネットパートは、吹奏楽ではメロディーからリズムパートまで、さまざまなパートを受け持っています。学生から主婦、会社員など性別も年齢もさまざまな12人が集まっており、各々が特徴を持っているので、ひとつのハーモニーを作り出すのは難しいですが、助け合い、時には厳しい指示を出し合いながら、切磋琢磨しています。ひとつの表現に固執するのではなく、音楽の雰囲気に合わせてさまざまな表情を出せるよう、更なる向上を目指しています。



私達は昨年の大型台風来襲の時期に3回もパート練習が重なったにも関わらず練習場に集まってしまい、無事帰宅できたかを確認し合った危なっかしいパートです。

【さりげなく突っ込む一撃、リーダーならでは。陽子ちゃん】【本人いわく「めっちゃかわいいで！」私に注目！祐規子ちゃん】【さら～りと、クールに皆の腹筋鍛えてくれます。晃江ちゃん】【他の6人にはない笑顔と気品、通訳もできます。弘子ちゃん】【研究熱心練習熱心、ピリッと激辛。いづみちゃん】【美味しいお店、街の事、何でも詳しい朋子さん】【笑わせ放題、常時おとぼけ天然キャラ。もんちゃん】以上女性7名、指揮者の超冷たい攻撃に耐え忍びながら今日も元気に頑張ります！！



Lighting Planning & Operation
Light fixture

ALL-LIGHTS

(有) オールライツ

〒700-0973 岡山市下中野720-101
phone 086-245-3772 fax 086-245-3782

「い」 ってみよ～！フルートパートはこんな人達
 「お」 んなばかりはちょっと寂しいけど
 「き」 ゆう人揃うと女の園
 「く」 りくりした目が、チャーミング！
 「し」 っかり練習→息ぴったり！（のハズ）
 「す」 てきなハーモニーを届けたい！
 「ふ」 あいと！一発！気・合・い・だ～っ！！
 「ま」 あ、こんなカンジで楽しくやってるんで
 「よ」 ～く聞いて下さいね！9人の愛をお届します♪



みなさんこんにちは。トロンボーンパートです。今年は7人という大所帯で定期演奏会を迎えることができました。以下、鉄の結束力（！？）を誇る我がパートのメンバーを紹介します。

岡本さん：百戦錬磨の大先輩。何処までも付いて行きます！！

兼田さん：いつもみんなを和ませてくれる存在。

三木さん：普段は紳士。飲み会では敵無し！？

行本さん：パート一番の若さで期待の星☆

立古さん：新しい楽器で気合い十分、岡山弁は下品です！？

小牧さん：バストロ初心者ですがお手柔らかに…

小原さん：トロンボーンパートの父として、その存在感は計り知れません。

以上7名で皆さんに吹奏楽の醍醐味（大きく出過ぎました。すみません）をお伝えできれば…と思っています。



こんにちは。チーム・ザ・バリチューです。我がパートといえば、団内一の平均年齢の高さでしょう。当団結成当時（楽器歴20年以上？）のSさんをはじめ、楽器歴はそうでもないのにやたら年を重ねている輩（やから）がゴロゴロしています。当然、飲み会大好きメンバー勢揃い。必ず飲み会に参加しているKさん、Oさん、Sさん。ビール・焼酎・日本酒をガバガバいただいております（増税反対！）。ちなみに…

【ユーホニアム】ここにきてメンバー倍増。保母さん十看護婦さん十女子高生十おじさまパワー炸裂？

【テューバ】息のあったおっさんたち（すまんMくん、君はまだ若い！）が、血圧を気にしながら悪戦苦闘中。指揮者よ、こき使う前に酸素ボンベをくれ！

【コントラバス】しばらく不在だったこのパートもとうとう団員が…。やったー。でも孤軍奮闘中。今回は、ピチカートにすべてを賭ける？

こんなバラエティー豊かな低音パートにあなたも「くぎづけ」です。



こんにちは！トランペットパートです。若干、他のパートより個性の強いメンバーが集まっておりますが不思議と仲良くやっています。

今日の演奏会の為にパート練習、そして団結力を深める為の幾度の飲み会（焼肉）をパートメンバーで乗り越えてまいりました。今日も気持ちよく美味しいお酒を飲める様、皆様に素敵なおサウンド（？）をお届けしたいと思います。



Nakagawa
Musical
Instrument

音楽によるふれあいの広場

中川 楽器

倉敷市宮前花の街56-1
Tel (086)423-0121

Members List

Flute & Piccolo

出原 啓美	大元 幸恵	喜多野智子	鈴木 淑子	窪津 仁美	塩津 恵	藤澤 典子
丸本 由紀	横内 理絵					

Oboe

丸橋 章勇

B Clarinet & Bass Clarinet

安宅 忠司	岡本真由美	金田 昭子	関文 彰	戸板かおり	中村 祥子	原田 紗智
前岸 亮子	三宅 宏美	森下 愛	横山 弓子	宝来 理恵		

Soprano, Alto, Tenor & Baritone Saxophone

井上 晃江	苅田 朋子	坂根 弘子	坂本 英子	平下いづみ	溝手 陽子	山本祐規子
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

Horn

高谷麻里子	田邊萌陶乃	常國 真吾	中島 蘭	林 智志	真嶋留衣子	渡部 祐士
-------	-------	-------	------	------	-------	-------

Trumpet

栗原 修一	多田 文彦	中山 幸治	中山 慶子	成山 恵子	原田 宗範	福明加奈恵
溝原 和孝						

Trombone

岡本 国芳	兼田 奏恵	小牧 崇宏	小原 則行	三木 剛	行本 理恵	立古 恵
-------	-------	-------	-------	------	-------	------

Euphonium

大坂 直美	荻野真由美	佐藤 裕史	世戸 裕子
-------	-------	-------	-------

Tuba & String Bass

小田 晃弘	朽木 陽一	室山 理	時光 弘子
-------	-------	------	-------

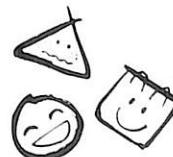
Percussion

古林ひとみ	野津 瞳海	林 マキ	福島 孝	山本 祐子	渡辺 麻野
-------	-------	------	------	-------	-------

演奏会実行委員会

実行委員長	朽木 陽一					
実行委員	岡本 国芳	林 マキ	宝来 理恵	中島 蘭	溝手 陽子	山本祐規子
	山崎 良統					

個・性・い・ろ・ いろ一色・い・ろ・い・ろ



GRAPHIC COMMUNICATION

ササベ印刷株式会社

〒710-0806 倉敷市西阿知町西原1327

TEL (086) 466-1111(代)

FAX (086) 466-0456

0120-66-1112

URL: <http://www.sasabe.co.jp>

E-mail: info@sasabe.co.jp

ISDN (086) 460-0066 / [Sub1] TooNET 11

この地に育まれて80年。あらゆる印刷のご相談、ご用命をお待ちしております。

●1枚からお見積り、ご注文をお受けいたします。

<http://www.kaw.ne.jp/>